

正しいFMEA/FTAの理解と 品質問題未然防止策DRBFM/Nakadeメソッド ～実際の製品開発、市場品質、現場品質のトラブル撲滅にどの様に活用していくべきか～

日時 2016年5月26日(木) 10:30～16:30

会場 江東区文化センター 3F 第3研修室 東京都江東区東陽4-11-3

受講料 49,980円 ※昼食・資料付
(税込) ※案内会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。
・1名でお申込みされた場合1名につき47,250円
・2名同時申込で両名とも会員登録をしていただいた場合、計49,980円(2人目無料)です。
※大学生、教員のご参加は、1名につき受講料10,800円です。
(ただし、企業在籍者は除きます。また、2人目無料も適用外です。)

主催 (株)R&D支援センター
定員:30名
※満席になり次第、募集を終了させていただきます。

講師 中出 義幸 氏 / コンサルティング 代表 (トヨタ自動車(株)認定 DRBFM/A 総工エキスパート)

このセミナーの

趣旨
品質は経営そのものの品質問題は「問題を見落とし」「見たけれども詰めが甘かった」の2つしかありません。製品設計はその製品の目的である機能を定義し、その機能を達成するための手段を衆知を集めて形にしていくことです。
品質問題の未然防止は、最終手段を「漏れなく定義する」とが重要で、次に「見なければ故障しない」という極めてシビアな視点から、「使われ方のストレスを知り、故障のなぜなぜ展覧会」を演出することが重要です。
本講義では、自動車部品の「故障」の力を対象に、品質を製品機能から考えることの重要性を解説し、FMEA、FTAの正しい活用法やトヨタ自動車推奨のDRBFMの基礎知識など、品質トラブルの未然防止の方法や仕組みについて、講義だけでなく、実際の現場で使った品質問題を盲無にしてきたノウハウを具体的に挙げていただきます。

申込受付は終了しました

- プログラム**
- はじめに
 - 品質問題の未然防止とは
 - 開発段階における品質問題防止の意義
 - デザインレビューの実態
 - 形骸化したデザインレビューの実態
 - 開発現場での「未熟な設計」「独りよがり設計」「機能の見落とし」
 - 従来のFMEAの考え
 - Nakade Method 商品力向上「7ヶ条」
 - 設計をシステムから考える
 - 機能抽出と数値化
 - 衆知を集めた最適設計手段の実現
 - 機能-故障と故障モード
 - 対策のトレードオフ
 - 質のいいなぜなぜ分析
 - FMEA完成度向上のからくり
 - リコール情報から学ぶ
 - リコール情報の分析
 - 考えさせられるタカク製エアバックの欠陥
 - ソフト屋主導のエンジン制御ECUプログラムミス
 - イグニッションスイッチの大規模リコール再発
 - ワイパーモーター被水とヒートポンプ事故から見える共通点
 - 品質の判断記述
 - 品質問題判断事例(家電製品)
 - 顧客不在のミラーレスデジタルカメラ、電磁調理器とパスユニット
 - メーカー判断のNAVI画面の品質基準
 - 品質とは
 - 品質の考え方
 - 品質の定義と分類
 - 品質問題未然防止手法の考え方

<グループ討議>

 - 品質問題はなぜ起こるのか
 - どうしたら、品質問題をなくせるのか?
 - 事業場の実態は?
 - 対策、方向性、トレードオフ
 - ⇒そこから見えてくる商品開発の方向性
 - FMEA/FTA
 - FMEA、FTAの基礎知識の習得
 - FMEAとは
 - FTAとは
 - FMEA、FTAの見える化の有効性
 - なぜなぜ分析の誤解事例と解説
 - 信頼性設計の鉄則
 - 信頼性の高い製品の定義の見落とし項目
 - 使用環境の変化による事故事例解説
 - 車の変化による品質問題の浮上事例
 - DRBFMとは
 - DRBFMの基礎知識の習得
 - 品質問題の未然防止法DRBFMの定義
 - 開発の効率化を考えた変更点・変化点に潜む問題の芽の撲滅手法
 - 機能一覧表、故障モード抽出表等7つの帳票を使ったDRBFMの解説

<ケーススタディー ※場合により変更いたします>

 - いつまでも飲み頃コーヒーカップ
 - 衆知を集める検討体験なぜなぜ分析
 - 演習...7つの帳票を使った衆知を集める活動体験
 - 機能一覧表作成から商品力を考える
 - 変更点・変化点一覧表の作成
 - 変更点・機能-故障モード表
 - FTA(なぜなぜ分析)
 - Nakade Method ワークシート作成
 - DRBFM推進での注意点解説

【質疑応答・名刺交換】

『正しいFMEA/FTAの理解と品質問題未然防止策DRBFM/Nakadeメソッド』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号	FAX		
お名前	所属	E-Mail	
①			
②			

※左記ご記入の上、**FAX 03-3261-0238**までお申込みください。

■お申込み方法
左記必要事項をご記入の上、FAXでお申込みください。お申込み後の連絡、受講証の発送、請求業務などは(株)R&D支援センターが行います。折り返し、R&D支援センターから受講証(当日ご持参下さい)、請求書、会場地図をご本人様宛てにお送り致します。お申込み後、5日以内にお手元に届かない場合は必ずR&D支援センター(TEL:03-5857-4811)へご一報下さい。

■お支払
請求書を発行いたしますので、開催日までに銀行振込でお願いいたします。

■個人情報の取り扱い
ご記入の個人情報は、当社および主催者が、事務連絡、ご案内等に使用いたします。

案内会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。
 Eメール 郵送
 ・お申込み後の連絡、受講証の発送、請求業務などは(株)R&D支援センターが行います。
 ・Eメールまたは郵送でセミナー・書籍ののご案内をお送りします。
 ・ご案内は(株)R&D支援センターおよびS&T出版(株)からお送りします。